

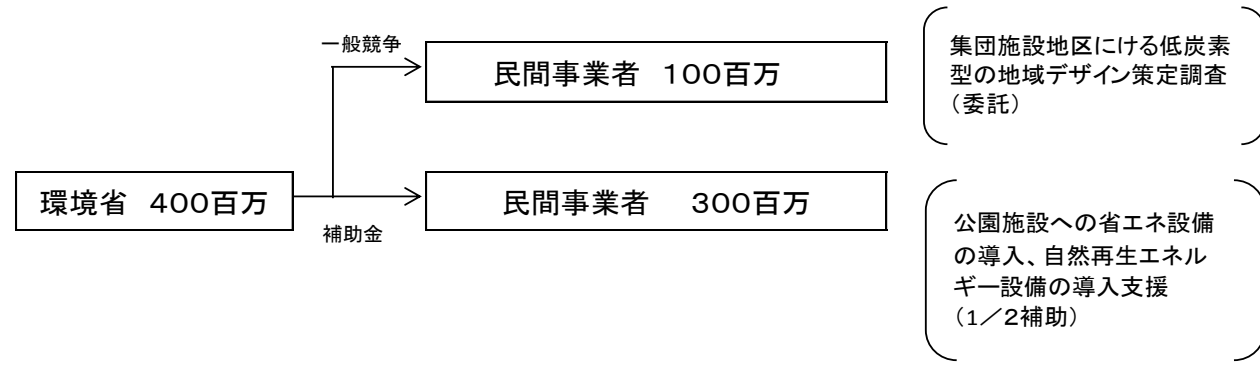
平成25年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	国立公園核心地域等における低炭素化促進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	国立公園課		課長 鳥居 敏男	
会計区分	エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する施行令第50条第8項第8号		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国の国立公園における集団施設地区等公園利用上重要な拠点において整備されている公園施設について、自然に優しいエネルギー消費の少ないシステムの導入や、地産地消型のコンパクトな自然再生エネルギーの活用を支援することで、自然豊かな国立公園核心地域等において、自然との共生モデルとして低炭素化を推進していくとともに、これらの取組について、年間4億人弱の国立公園利用者を通じた全国への波及効果を狙うもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立公園の集団施設地区において二酸化炭素削減ポテンシャル調査や経済性の高い削減対策を組み入れた低炭素型の地域デザインを策定する。また、国立公園の公園施設における自然再生エネルギー設備の導入、省エネルギー化のための施設・設備の改修・再整備を補助する(補助率1/2)。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				400	
		繰越し等				-	
		計				400	
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	国立公園核心地域等における二酸化炭素排出量の削減 地域によって公園施設の整備状況、自然再生エネルギーの賦存量等の条件が変わるため定量的目標は設定できない。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	低炭素化が図られた国立公園内の地域数		活動実績(当初見込み)	件	-	-	-
単位当たりコスト	本事業は、モデル地域における二酸化炭素排出量の削減に加え、国立公園利用者を通じた全国への波及効果を狙うものであり、上記活動実績のみによるコスト算出にはなじまない。		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等委託費	100	-	平成26年度は「地域主導による再生可能エネルギー等導入事業化支援事業」及び「地域主導による先導的「低炭素・循環・自然共生社会」創出事業」に整理統合予定			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	300	-				
計	400	-					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	新成長戦略(平成22年6月閣議決定)において、温暖化ガス削減、再生可能エネルギーの普及拡大支援が掲げられているとともに、本事業はこれらの方針のもと、国立公園核心部における低炭素化を支援するものであり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	委託調査については、一般競争入札を実施している。受益者との負担関係については、事業者に1/2以上の負担を求めており、受益者との負担関係を明確にしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	委託調査で実施した地域デザインを活かし、地域の各事業者は補助金を活用した省エネルギー化設備の導入、自然再生エネルギー設備の整備等を行うこととしており、調査の成果物は十分活かされる事業となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	当該事業の補助金は国立公園事業施設に限ったものであり、他省庁との重複はない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	<p>本事業は国立公園の集団施設地区等について、自然との共生を図るモデル地域として低炭素化促進を行うとともに、年間4億人弱の国立公園利用者を通じた全国への普及展開、自然再生エネルギー活用促進につなげ、大きな波及効果を狙うものである。さらに、国立公園の国内外のブランドイメージの向上、地域活性化にも寄与するものであり、引き続き国の事業として実施していくことが必要。</p>					
	外部有識者の所見					
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)